

## 宮内庁三の丸尚蔵館の今後の保存・公開の在り方に関する提言（骨子）

### 1. 経緯

### 2. 今後の保存・公開の在り方の基本的方向

- ①皇室に伝えられてきた貴重な品々を、将来にわたって良好な環境で保護し、皇室を中心とする文化を紹介する拠点として、国内外の多くの人々に公開するための環境の整備を図る。
- ②調査研究と保存管理の一層の充実を図り、多くの人々に親しまれる施設とするための機能の強化を図る。

### 3. 収蔵作品の美術的価値について

### 4. 今後の保存・公開の在り方

#### (1) 収蔵品の内容精査を踏まえた保存・公開の在り方

##### ①皇室由来の貴重な美術品を保存・公開する役割・機能の充実

- ・収蔵品全体の約1/4が、美術的、歴史的見地から優れた作品であり、それ以外も、皇室なればこそ集積された幅広い分野の興味深い作品であることを踏まえ、調査研究、修理等の活動を充実強化し、優れた日本や皇室の文化の重要な発信拠点となる。
- ・収蔵スペースの確保と保存環境の改善、展示室の拡大と複数化の検討
- ・映像等の活用により収蔵品や皇室、東御苑等の情報を提供する場の構築
- ・役割・機能を踏まえた名称の検討

##### ②美術的価値の保存を確実にし、効果的に展示するための施設の拡充

- ・収蔵品の保存を安全確実にするための施設の拡充、作品の特性を踏まえた保存環境の改善
- ・展示拡大に伴い、人々の親しみと理解を促進させるための工夫の必要性

##### ③収蔵・公開・学芸機能の一体的整備と情報発信機能の強化

- ・施設の一体的整備による保存、展示、調査研究機能の総合的な向上
- ・皇居の新しい顔として、情報発信拠点として相応しい外観を検討
- ・HPの充実や画像利用による作品紹介等の情報発信の強化
- ・訪れる人の快適さ等の工夫

##### ④収蔵品の価値を分かりやすく示すことの検討

#### (2) 運営・組織の在り方

##### ①運営体制の強化

- ・皇室と日本文化の関わりを発信する中心的拠点にふさわしい適切な組織化
- ・管理部門、学芸部門の職員配置の見直しと増員

##### ②国内外に向けたプロモーション、インバウンドへの対応

##### ③施設の有料化について

#### (3) 施設整備の期間中の公開の拡充

- ・一体施設が完成するまでの間、展示室の一部を公開することを検討
- ・国立博物館等での作品公開